

早川よしゆき 市政報告

第31号

3月議会（予算特別委員会）

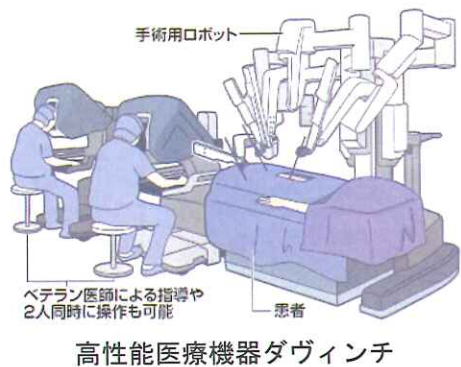
平成26年度の予算が予算特別委員会に委託され審議されました。

私は、福山北部工業団地の第2期分譲に向け、早期開発（第2期分）を実現すべきと質問しました。我々は貨幣経済の中で生活しており、経済が安定的に持続的に発展していくことが私たちの生活の基本と考えます。行政は全体を考えなくては行けません、どうして行政が積極的にかかわ



れるとしたら、工業団地の造成を一日も早く取り掛かるべきだと主張しました。東日本大震災から言われるようにこの一帯が日本で最も安全・安心の地域といわれています。大阪や九州の中間地点でもあり、雇用の確保、活力のある若者の定住、様々な条件を満たせる福山北部工業団地、みなさんの積極的な意見をお願いします。

福山市民病院 手術支援ロボット 導入



高性能医療機器ダヴィンチ

「遠隔操作で、術者の負担も減少」医師の負担を軽減する手術用ロボットが導入されます。

手術を担当する医師はサージョンコンソールと呼ばれる機械に座り、患者さんに触れずに遠隔操作で手術が可能です。これまででは医師が無理な姿勢を強いられたり、長時間たつたままでの手術が行われていましたが、ロボットの導入により、そうした医師の肉体的な負担が軽減でき、加えて手振れを防止し、突発的な動きを制御する機能が医師のメンタルをサポート、術者にかかるストレスが軽減されより確実な手術

を行うことができます。購入予算額は4億5千万円。今年の秋、稼働予定です。

福山マラソンに 参加

3月16日（日）竹ヶ端の陸上競技場を中心に第33回福山マラソンが開催されました。ハーフマラソン、10キロ、3キロ、2・5キロのファミリーマラソン、それに4キロのウォーキングの5種目に約7900名の過去最高の参加者が集い、色鮮やかなマラソン選手たちで大いに盛り上がりました。私は前回に同じく4キロのウォーキングに参加。1000人あまりが参加。上位30位ぐらいで元気にゴールしました。



人口減少社会と 少子化の進行

国政調査の結果によると日本の総人口は2010年（平成22年）には約1億2800万ですが、今後は人口が減少していくものと予想されています。高齢者の人口比率は2010年（平成22年）には23・0%（世界最高水準）となり、今後も上昇が予想されています。一方で15歳以下の年少人口は13・2%で今後も低下傾向が続くと予想されています。

今、少子高齢化、人口減少が進む社会の中で社会経済の発展、地域の活力が大きな課題です。



早川佳行の
主な役職

60才

福山市議会議員

五期目

監査委員

総務委員会

委員

行財政改革特別委員会

委員

福山市個人情報

保護審議会 委員

福山市社会教育委員会

委員

ふくやま美術館及び

書道美術館運営委員会 委員

年4回本会議ごとに発行します。ご意見、ご希望などをお聞かせ下さい。

早川 佳行

発行者

福山市議会 水曜会
市議会議員 早川 佳行

住所 福山市加茂町下加茂 1901
電話 (084)972-3195
事務所 福山市加茂町上加茂 265
電話 (084)972-8999
FAX (084)972-2093

水曜会

第31号

平成26(2014)年4月発行

発行者 福山市議会 水曜会
住所 〒720-8501
福山市東桜町3番5号
電話 084-928-1123
FAX 084-920-1104



はらのまち福山

三月定例市議会

本議会は、二月二十七日開会。三月十九日閉会。議事として平成二十六年一般会計予算案、消費税改定に伴う条例改正案など109議案を審議、原案どおり賛成多数で可決しました。

一般会計予算規模が四年ぶりの増加

市民生活に関連の深い一般会計では、四年ぶりの増加で、特別会計と企業会計を合わせた全会計は、3226億3943

平成26年度予算状況

	前年度比
一般会計	1,646億円余 1.5%
特別会計	936億円余 0.9%
企業会計	643億円余 7.1%
合計	3,226億円余 2.4%

平成25年度3月補正予算状況

一般会計	26億円余
特別会計	9億円余
企業会計	7億円余
合計	44億円余

平成26年度の主な新規・重点事業



- 100万本のはらのまちづくり推進事業 18億 800万円
- 鞆地区町並み保存 3,300万円
- 鞆地区まちづくりの推進 1億9,800万円
- スマートインターチェンジ 6,400万円
- 都市ブランド戦略の推進 3,400万円
- 観光客誘致の促進 1,500万円
- 協働のまちづくりの推進 1,700万円
- 競馬場跡地利活用の推進 3,000万円
- 若者交流の支援(婚活の支援) 200万円
- こども発達支援の充実 2,500万円
- 病院施設の整備 13億4,000万円
- 防犯環境の整備 7,400万円

※平成26年度の内海町・新市町・沼隈町・神辺町の合併建設計画分は、別途計画に沿って実施。

佐藤彰三氏

副市長に就任



佐藤彰三氏

三月二十日に、堀径扇副市長の辞任に伴い佐藤彰三氏を賛成多数で選任しました。任期は、二十一日から四年間です。

万円で、前年度当初比2.4%の増です。アベノミクス効果が地方にも普及する中で、前年度と比較し、歳入状況が好転した中での予算編成です。

小・中学校 耐震化を加速

歳出の主なものは、生活保護費が減る一方で、障がい福祉サービスの拡充などで、扶助費は過去最高の424億5406万円。人件費は、職員数の計画的な削減などで5.7%減の284億円余です。

将来都市に貢献する投資的経費は、小・中学校耐震化等や神辺支所の建て替えに伴う神辺地域交流センターの建設事業費等17%増の120億1498万円です。

重点政策では、都市ブランド戦略や、競馬場跡地利活用、平成二十八年市制施行100周年記念事業の推進など関連施策を主な柱としています。

また、平成二十五年補正予算として、経済対策分として国庫支出金等財源を活用し、総額44億円余を補正し、市民生活に関わりの深い施設等の整備等に取組みます。

主な事業は、小中学校の校舎などの耐震補強改修費や、長寿命化の補修

一般会計の

賛成討論要旨

市内企業の景況感は、3カ月連続で上昇する中、本市の予算規模は、四年ぶりの増加とし、懸案である臨時財政対策債10億円減少し市債残高も12億円の縮減を図り、健全化に配慮、歳出面では、投資的経費を確保するなど、創意と工夫により効率的執行も配慮した予算です。

今後、市制100周年に向け、誰もが安心、安全の暮らしと共に、心豊かなまちの実現に向け、大きく前進する事を念願し、本会計に賛成しました。

水曜会 代表質問



神原則男議員

今回の水曜会代表質問は、神原則男議員で、市長の政治姿勢や、鞆のまちづくり、国保行政など21項目にわたり、市長・教育長の見解を求めました。詳細は、五月一日発行の「福山市議会だより」に掲載します。

を行う橋梁維持費、緊急雇用対策費などです。